

大阪城

2024
6/17 (月)
14459 号

全港湾
西成分会

2nd
6647-
4947

30度を超える熱。日が続き、熱中症になる人も出てきている。関西は梅雨がおくれいているが、梅雨には梅雨入りするのだろうか。

今年も半分が終ろうとして、一年の折り返しと心にやっつけてきている。昨日までイタリア・スイスでG7(7ヶ国首脳会議)や、ウクライナ平和会議が開かれ、岸田首相も参加していたが、会議は踊る、会議は回る。で、旧来の力はなくなっている。バイデン大統領は、選挙の金集めで、途中でアメリカに帰ったり、倉庫は、高齢で体力がななので参加しなかったりと、アメリカの存在力が陰ってきている。

日本の国会も、あと1週間で終り。裏金の解決のための法律ができるのかどうか。内容は、いかに、ザル法だといわれる程度で批判も多い。東京の都知事選挙は、6/20告示で、7/7(日)投開票。

そして、9月末の、自民党内部の、党統裁の選挙だとして、権力の闘争が流れていく。秋風が吹くころまで、つき合われれば、ムクな疲れが残るだけで、別の道を見出し、歩いて行くのが、自然だろう。

ただ、太平洋の向う側は、林になれば、大統領選挙戦争はたいへんになっているだろう。アメリカ人の4割ぐらいが「内戦」を心配しているという。内戦にさせないための、アメリカ人の知恵と力量に期待したいものです。

岸田文雄総裁-迫られる決断 解散総選挙・総裁選挙・退陣

「裏金問題」揺れた通常国会も今週閉会日むかえることとなります。

支持率低迷にあえぐ岸田氏、自民党総裁任期が9月の党大会までで再任されないことと退陣を迫られることとなります。

10%台まで下がって不人気な状況でも本人は「やる気満々ということなので、「奇策」を弄する意味で無謀にも「解散総選挙」に流れ込むことも否定できないといわれています。とんでもないことになりそうですが。何があっても驚かないじだいです。

9月の自民党大会まで3カ月。誰も自民党に期待することがなく、「政権交代」で新しい政治を求める世論が盛り上がるなかでどんな政治劇が繰り広げられることになるのでしょうか

暑さ対策しつかり

6月上旬くらいから30度越え35度熱暑日になるような事態になっています。まだ身体が暑さについていけない時期なのでできる対策が必要です。